


【件名】	水無瀬橋補修工事	【事務所名】	南多摩西部建設事務所	
【工事場所】	八王子市横川町地内から同市日吉町地内まで	【受注者名】	児玉建設株式会社	
【工期】	平成29年8月28日から平成30年3月16日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 深津 三峰男	

【工事概要】

落橋防止装置(鋼製ブラケット)設置94基 橋面防水工(塗布) 845m²
 橋面舗装工(車道) 526m² 橋面舗装工(歩道) 319m² 断面修復工
 0.11m³ ひび割れ充填注入工4.9m³ ひび割れ注入工(横締めカー
 リー)0.044m³ PC桁1本 管削孔工180箇所 樋設置工124.5m
 剥落防止ネット設置工252m² 金網柵設置工23.5m 排水柵清掃工
 8箇所 区画線設置工1式 仮設工1式

【表彰理由】(※発注者側評価)

現場代理人(監理技術者)は、橋梁工事に対する豊富な知識と経験を生かし、耐震補強工事の必要性や工事内容の説明を住民向けに掲示を行うとともに、工程変更等の広報を随時沿道住民への周知を図るなど積極的な事業PRに努めた点は、工事に対する熱意が特筆すべき事項であった。

現場内の整理整頓等を下請業者を含め確認しあうなど安全への意識が高く、交通難所の工事であったが無事故で工事を竣工させた。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

当該橋梁は、竣工後35年を経過したPC橋梁であり、珪酸骨材反応による損傷等が見られる事から、いかに構造物本体にかかる負担を最小限に抑えながら施工できるかの検討を行い、注意深く施工致しました。

◇ 特に工夫した点

吊り足場の施工に際し、PC桁底部に削孔するアンカーをPC桁への負担を少なくするために、極力本数を減らすべく構造計算を行った上で、河床面から日々枠組足場の組立解体を繰り返し、削孔作業を行い、通常の吊り足場の施工方法よりアンカーピッチを大きくする事を可能としました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

現場周辺の除雪作業中に、近隣住民の方々から感謝の言葉を頂いた際には、やりがいを感じました。また、日頃から工事の目的意識を常に持ちながら施工に当たり、工期限内に無事故無災害で工事を完成できた事に達成感を感じることができました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業は国民が快適な生活を行う上で必要なインフラを整備し、また維持更新していく等、大変重要な役割を担っている仕事です。また、災害発生時には、道路啓開作業を行うなど、地域社会にも貢献しています。まだまだ語りつくせませんが、非常にやりがいのある仕事であると思います。



吊り足場用アンカー削孔状況